

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月15日

上場会社名	はるやま商事株式会社	上場取引所	東証一部
コード番号	7416	URL	http://www.haruyama.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長 (氏名) 治山 正史	TEL	(086) 226 - 7101
問合せ先責任者	(役職名)執行役員 (氏名) 浅沼 明		

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	41,433	2.0	16	97.7	90	89.3	598	-
19年3月期第3四半期	40,610	-	751	-	846	-	251	-
19年3月期	58,308	-	3,525	-	3,673	-	1,012	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	36	82	-	-
19年3月期第3四半期	15	33	-	-
19年3月期	61	68	61	61

(注) 前年同四半期より連結財務諸表の開示を行っているため、平成19年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

平成19年3月期第3四半期及び平成20年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	65,905	36,099	54.8	2,219	37
19年3月期第3四半期	66,396	35,817	53.9	2,188	52
19年3月期	66,648	36,963	55.5	2,272	42

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

当社においては、事業の性質上、第4四半期(1月~3月)の売上高、利益が他の四半期に比べて大きいという季節的な要因があります。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	59,893	2.7	2,253	36.1	2,260	38.5	77	92.4	4	74

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に設備投資が引き続き増加基調にあり、緩やかな景気の回復が続いております。しかしながら、サブプライムローンに端を発する米国経済の減速や原油価格の高騰など、先行き不透明感を残したまま推移いたしました。個人消費につきましても、賃金の伸び悩みに加え、原油・原材料価格の上昇により、依然として力強さを欠いております。

小売業界におきましては、新規商業施設の相次ぐ出店による競争の激化に加え、気温の低下が進まなかったことなどから秋冬物商品の販売が伸び悩み、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは積極的な出店を続けることにより新しい地域でのドミナント化を進めると同時に、不採算店舗の撤退も推進し、収益力向上に努めてまいりました。また、CS運動（顧客満足運動）の定着を図り、全社一丸となって顧客満足の徹底に取り組んでまいりました。

主力の紳士服販売事業につきましては、こだわりのお洒落を楽しむ方のために一流ブランド「YUMI KATSURARA」や「ウォモ バイ ロベルタ ディ カメリーノ」のメンズスーツを発売し、また女優の戸田恵梨香さんをCMキャラクターに起用してレディスリクルートスーツを本格的に展開するなどの価値ある提案に努め、紳士服売上全体では前年対比102.1%となりました。

カード事業につきましては、平成19年12月末現在の有効会員数は157千人、営業貸付金残高は553百万円となりました。公共料金カード決済キャンペーンや請求時割引キャンペーン等のショッピング利用促進諸施策を実施するなど、収益向上に注力いたしました。

これらの結果、当第3四半期の連結業績は、売上高414億3千3百万円、営業利益1千6百万円、経常利益9千万円となりましたが、収益性の下落等により営業店舗11店舗、貸貸資産及び遊休資産3件について4億5百万円の減損損失を計上したことなどにより、5億9千8百万円の第3四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、新規出店等によりたな卸資産及び差入保証金が増加いたしました。減損損失の計上などによる有形固定資産の減少、現金及び預金の減少などにより、前期末比7億4千3百万円減の659億5百万円となりました。負債につきましては、支払手形及び買掛金、長期借入金がそれぞれ減少したのに対し、短期借入金が増加したことなどにより、負債合計は前期末比1億2千万円増の298億5百万円となりました。純資産は、剰余金の配当や第3四半期純損失の計上などによる利益剰余金の減少により、前期末比8億6千3百万円減の360億9千9百万円となり、自己資本比率は54.8%となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な方法を採用しております。

- ・ たな卸資産については、実地たな卸を行わず、帳簿たな卸により算定しております。
- ・ 税金費用については、簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく新たな定率法による償却方法により減価償却費を計上しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
(資産の部)					
流動資産					
1 現金及び預金	5,601	5,566	35	0.6	8,181
2 受取手形及び売掛金	58	88	29	50.5	97
3 営業貸付金	417	553	136	32.6	479
4 有価証券	-	9	9	-	-
5 たな卸資産	16,970	16,254	715	4.2	15,062
6 その他	4,961	4,777	183	3.7	4,483
貸倒引当金	0	0	0	2.3	0
流動資産合計	28,009	27,249	759	2.7	28,303
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	11,542	11,065	476	4.1	11,170
(2) 土地	14,107	13,936	170	1.2	14,107
(3) 建設仮勘定	59	66	6	11.4	361
(4) その他	996	1,063	67	6.8	945
有形固定資産合計	26,705	26,132	572	2.1	26,585
2 無形固定資産	145	148	3	2.2	149
3 投資その他の資産					
(1) 差入保証金	5,992	6,426	434	7.2	5,974
(2) その他	5,698	6,060	362	6.4	5,745
貸倒引当金	154	112	41	27.1	109
投資その他の資産合計	11,536	12,374	838	7.3	11,610
固定資産合計	38,387	38,655	268	0.7	38,344
資産合計	66,396	65,905	491	0.7	66,648

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万 円)	増減率 (%)	金額(百万円)
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	9,067	9,901	834	9.2	11,421
2 短期借入金	6,050	6,700	650	10.7	1,400
3 1年内返済予定の長期借入金	2,230	2,109	120	5.4	2,219
4 未払金	3,658	3,625	33	0.9	4,798
5 ポイント引当金	474	523	49	10.4	494
6 賞与引当金	75	67	7	9.7	289
7 その他	1,277	1,105	171	13.5	1,818
流動負債合計	22,832	24,033	1,200	5.3	22,443
固定負債					
1 長期借入金	5,723	3,684	2,038	35.6	5,187
2 退職給付引当金	1,119	1,220	101	9.0	1,143
3 役員退職慰労引当金	639	600	39	6.1	639
4 預り保証金	198	198	0	0.1	204
5 その他	65	68	3	4.7	67
固定負債合計	7,746	5,772	1,973	25.5	7,242
負債合計	30,579	29,805	773	2.5	29,685
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	3,991	3,991	0	0.0	3,991
2 資本剰余金	3,864	3,864	0	0.0	3,864
3 利益剰余金	28,122	28,535	413	1.5	29,386
4 自己株式	167	287	120	71.9	287
株主資本合計	35,810	36,104	293	0.8	36,954
評価・換算差額等	6	4	10	-	8
純資産合計	35,817	36,099	282	0.8	36,963
負債、純資産合計	66,396	65,905	491	0.7	66,648

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額(百万円)
売上高	40,610	41,433	823	2.0	58,308
売上原価	18,704	18,573	130	0.7	26,070
売上総利益	21,905	22,860	954	4.4	32,237
販売費及び一般管理費	21,154	22,843	1,689	8.0	28,712
営業利益	751	16	734	97.7	3,525
営業外収益	272	253	18	6.8	388
営業外費用	177	179	2	1.2	240
経常利益	846	90	755	89.3	3,673
特別利益	10	84	74	732.4	53
特別損失	1,063	828	234	22.1	1,213
税金等調整前四半期純損失()又は当期純利益	207	653	446	-	2,513
税金費用	49	54	103	-	1,505
少数株主損失	4	-	4	-	4
四半期純損失()又は 当期純利益	251	598	346	-	1,012